

透き通るガラス被膜で1年に1回新車のままに。  
新しいカーライフの形。

CRYSTAL KeePer 1 番人気

## クリスタルキーパー

1年間洗車だけ、ノーメンテナンス。

作業時間: 2時間

SS	16,600
S	18,600
M	20,800
L	22,800
LL	27,000
XL	31,300

※洗車料を含む。(単位は円、税込)

クリスタルキーパーの構造



②...ツヤを深め、シミを防ぐレジン被膜  
①...強固に塗装を守り透明感のあるツヤを造り出すガラス被膜



### クリスタルキーパーのメリット

#### 1 キレイで目立ってステキになる

ガラス特有の透明感あるツヤで、他のクルマと差がつかず!  
「水シミ」の防止にもなるから、一石二鳥!

#### 3 水はじきが良くなってキレイが続く

コーティングすれば、水はじきがよくなり、雨が降っても汚れにくくなります。キレイが続いて洗車回数もグッと減ります。

#### 2 汚れが落ちやすくなってラクになる

汚れても水洗いすればサッと汚れが落ちやすく、洗車時間が短くなります!

#### 4 クルマの価値を守る

紫外線などから塗装を守るので、クルマの価値を守ります。



### 1年に1回という、新しい提案。

#### 1年に1度の施工で、ガラス被膜が確実に保護。

クリスタルキーパーの被膜は塗装の身代わりとなって、外部の攻撃を受け止め塗装を守ります。だから1年に1度、その表面の被膜を入れ替える必要があります。そうすることでいつもフレッシュな被膜がツヤを強調しながら、塗装を強力に守り続けることができます。これが、年に1回クリスタルキーパー施工をおすすめする理由です。

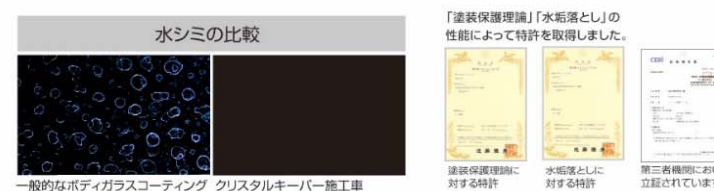
#### 1年に1度、繰り返すことで塗装が守られるだけでなく、むしろツヤが良くなってきます。

クリスタルキーパーの2回目以降のリフレッシュ施工では、まず1年間で傷んだレジン被膜とガラス被膜の一部を、キーパー専用の特殊かつ独特なクリーナーで洗い流します(特許登録済)。すると、塗装のミクロの凸凹に根を下ろした部分を含むガラス被膜の一部を残して、キレイに取り去られます。その上に、初回のクリスタルキーパーと同じようにガラス被膜とレジン被膜を順番に、丹念に作り直します。つまり2回目以降のクリスタルキーパーでは、塗装のミクロの凸凹に根を下ろしている部分と一定のガラス被膜が、塗装の上に残った状態で再施工されることになります。すると初回の施工時よりも非常にスムーズにコーティングができます。クリスタルキーパーは初回の施工でも良いツヤを出しますが、2回目以降の施工ではさらに塗装の平滑化が

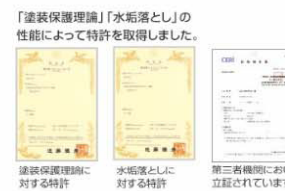
進み、初回の施工以上のより良いツヤを出します。1年に1度の施工で、どんどんツヤが良くなっていくわけです。これをキーパーコーティングの「塗装面改善の方向性理論」(特許登録済)といいます。

#### 「クリスタルキーパー」が1年に1回、感動するその訳。水シミ・水アカを根本的に解決!

「水シミ」「水アカ」などは、水道水や地下水、泥水などに含まれる無機質の「ミネラル」が、水分が乾く過程でボディの上に付着し、何度も堆積して出来きます。従来の無機質のボディガラスコーティングの場合、ミネラルが無機質同士で定着しやすいので発生する現象です。しかしクリスタルキーパーのレジン被膜は「有機質」の性質を持っているため、「水シミ」などの定着を根本的に防ぐことに成功しています。



一般的なボディガラスコーティング クリスタルキーパー施工車

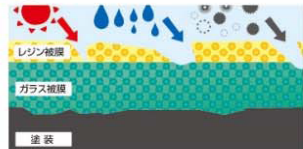


#### 1 初回施工



クリスタルキーパーのWの透明被膜は、初回施工からとても深い艶と強い水はじきを実現します。

#### 2 1年間で



Wの透明被膜が1年間、塗装の身代わりとなって、紫外線やほこりなど外部の攻撃を受け止め、自ら傷み、塗装を守ります。(犠牲被膜の名前の由来)

#### 3 1年後のリフレッシュ施工で



2回目以降のリフレッシュ施工では、1年間で傷んだWの透明被膜を、専用のクリーナーで洗い流します(特許)。すると、塗装の凸凹に根を下ろした部分を残して取り去られます。

#### 4 より厚い被膜になって、強い艶が実現



その上に、ガラス被膜とレジン被膜を塗り直します。すると、2回目以降さらに表面の平滑化が進み、1年に1回の施工でどんどんツヤが良くなっていく訳です。

NEW

### 樹脂フェンダーの色、艶を守る

## 「樹脂フェンダー キーパー」

無塗装樹脂パーツをコートし色あせを防ぎ、汚れから守ります。

作業時間: 50分 ~ ■ 耐久: 1年

### 樹脂フェンダー キーパーの価格について

樹脂フェンダーキーパーの施工料金は、使用するケミカル量(樹脂パーツの大きさ)によって変わります。

※下記の車種以外は施工料金 **5,800円**

※ジープ・ラングラーのみ施工料金 **17,400円** になります。(樹脂パーツが多いため)

<b>11,600円</b>	マツダ CX-30 CX-3 CX-5 CX-8 MX-30	日産 キックス エクストレイル ホンダ CR-V スズキ エスクード ジムニーシエラ クロスビー	三菱 エクリプスクロス ジープ レネゲード タイハツ ロッキー	ミニ クロスオーバー シトロエン C3 ボルボ XC40
	レクサス UX トヨタ RAV4 CH-R ライズ ヤリスクロス FJクルーザー	スバル アウトバック	フォルクスワーゲン GLA GLB	ランドローバー ディフェンダー フォルクスワーゲン ティークロス



### 樹脂フェンダー キーパーの効果

最近のSUV系の車には、無塗装の樹脂で出来たフェンダーを装着した新車が多く出ています。この「無塗装樹脂フェンダー」は、露頭に曝されると簡単に経くなり、空気に触れることによって表面の顔料(色粉)が失われて隙間だらけの繊維状になって乱反射して灰色化します。無塗装樹脂が比較的短期間に退色して白っぽくなる現象です。樹脂フェンダーキーパーを施工すると、シリコン樹脂が高分子と架橋することによって非常に高い耐久性を獲得しています。しかも、特徴的なのは酸化チタンを架橋膜の中に入れておくことです。ご承知の通り酸化チタンは日焼け防止クリームやローションに使われている有効な紫外線フィルターです。非常に細かい酸化チタン粒子が385nm以下の波長の紫外線をフィルターします。この結果、無塗装樹脂を紫外線から守ることができます。



NEW

### お待ちの間に完成! スマホ用コーティング

## 「認定」スマホキーパー



KeePerは、スマートフォン用のコーティングとして認定され、新たなコーティングサービスとして「スマホキーパー」を販売開始です。スマホキーパーは、特長のあるガラス被膜が、スマートフォンの表面、裏面どちらの素材にもしっかりと定着し、優れた保護効果を発揮します。

#### スマホキーパーをすると

滑らかな触り心地で操作性が良い

KeePer独自の技術で擦り傷から守る

※第三者機関で立証、認定。

質感の良い光沢

汚れもスカッと拭き取れる

画面がとても見やすい



スマートフォン施工料金

片面	3,300
両面	4,400

(単位は円、税込)

タブレット施工料金

片面	4,400
両面	5,500

(単位は円、税込)